

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

水産課

1 施設の概要等

施設名	広島県栽培漁業センター		
所在地	竹原市高崎町字西大乘新開 185 番地の 12		
設置目的	魚介類の種苗生産, 配布等による栽培漁業の振興		
施設・設備	管理棟, 貝類棟, 飼育棟(50KL×16 水槽), 新魚種種苗生産棟(50KL×8 水槽)等		
指定管理者	4 期目	H28. 4. 1~H33. 3. 31	(一社) 広島県栽培漁業協会
	3 期目	H23. 4. 1~H28. 3. 31	(一社) 広島県栽培漁業協会
	2 期目	H20. 4. 1~H23. 3. 31	(社) 広島県栽培漁業協会
	1 期目	H17. 4. 1~H20. 3. 31	(社) 広島県栽培漁業協会

※平成 25 年 4 月 1 日から一般社団法人に移行。

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	種苗生産尾数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4 期	28	9,148 千尾 (1,500 千枚)	9,917 千尾 (1,535 千枚)	1,090 千尾 (6 千枚)	769 千尾 (108.4%) (35 千枚 (102.3%))
	3 期平均 23~27		8,624 千尾	8,827 千尾	△2,973 千尾	203 千尾 (102.4%)
	2 期平均 20~22		11,343 千尾	11,800 千尾	△1,099 千尾	457 千尾 (104.0%)
	1 期平均 17~19		12,622 千尾	12,899 千尾	△1,862 千尾	277 千尾 (102.2%)
	16 (導入前)		13,790 千尾	14,761 千尾	—	—
増減理由	○漁業者の需要を反映した生産尾数とするため事業計画を毎年度立てている。 ○種苗生産尾数については, 三倍体マガキ等においては目標を上回る結果となった					

※第 4 期の ( ) 内は三倍体マガキ (かき小町) 生産枚数 (内数)

※平成 28 年度においては, ヒラメ, オニオコゼの受精卵数は除く。

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	種苗生産配布検討会を開催して, 漁業者のニーズ等を把握	(公益) 広島県漁業振興基金, 広島県漁業協同組合連合会, 広島県内水面漁業協同組合連合会
	【主な意見】	【その対応状況】
	健苗の生産	飼育環境及び餌料系列の変更による健苗生産
	遊漁に適したアユの生産	遊漁に適した人工種苗の研究
	ガザミ大型種苗の配布	大型種苗生産技術の開発
キジハタの生産と配布	安定した量産技術の開発	

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 事業報告書
	日報 (必要随時)	○ 水産種苗調査 (報告書)
管理運営会議 (12 回・県庁等)	【特記事項等】 施設の修繕箇所を確認し課題を整理した。	【指定管理者の意見】 修繕の実施中においても, 効率的な種苗生産に取り組めるよう配慮を求め る。
現地調査 ( 随時 水産種苗調査及び 1 月に実施 )	【県の対応】 修繕工事契約に指定管理者の意見を踏まえた内容及び工程を設定した。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	4期	28	91,938	2,634		4期	28	202,017	19,639
県委託料 (決算額)	3期	27	89,304	△3,564	種苗 頒布 収入 (決算額)	3期	27	182,378	12,161
		26	92,868	4,637			26	170,217	57,662
		25	88,231	△12,241			25	112,555	△13,074
		24	100,472	5,616			24	125,629	4,358
		23	94,856	△30,130			23	121,271	27,309
	2期平均 20~22	124,986	△5,672	2期平均 20~22		93,962	16,612		
	1期平均 17~19	130,658	△21,574	1期平均 17~19		77,350	15,328		
16 (導入前)	152,232	—	16 (導入前)	62,022	—				

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	91,938	89,304	2,634	人件費の増
		種苗頒布収入	202,017	182,378	19,639	集中放流生産委託の増
		その他収入	11,600	11,600	0	
		計(A)	305,555	283,282	22,273	
	支出	人件費	117,890	109,677	8,213	職員の増
		光熱水費	3,631	3,697	△66	
		設備等保守点検費	16,249	20,514	△4,265	海水供給施設等保守整備費の減
		清掃・警備費等	648	706	△58	
		施設維持修繕費	8,485	8,853	△368	修繕費の減
		事務局費	386	390	△4	
種苗生産経費		150,431	138,692	11,739	集中放流事業導入のため	
その他		7,835	753	7,082	生産安定化資産積立の増額	
計(B)	305,555	283,282	22,273			
収支①(A-B)		0	0	0		
自主事業 (※)	収入(C)	0	0	0		
	支出(D)	0	0	0		
	収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)		0	0	0		

※ 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の設置目的に沿った業務実績</li> <li>○業務の実施による, 県民サービスの向上</li> <li>○業務の実施による, 施設の利用促進</li> <li>○施設の維持管理</li> </ul>	<p>漁業者ニーズ等の把握に努め, 広島県種苗生産・配布要領に基づき, 平成 28 年度の生産魚種, 尾数, 単価等を決定し, それに基づき, 種苗生産を行った。</p> <p>魚類については, 計画数量以上の生産ができたものについて, 余剰種苗として積極的に販売した。</p> <p>栽培漁業について, ホームページにより紹介を行うとともに, 小学校, 地元の観光客の見学受入れを自主的に行った。</p> <p>施設の老朽化に伴い, エネルギー棟の改修に向けて, 県と共に実施設計に取り組んだ。</p> <p>見学者の安全を確保するための危険箇所の点検と改修を実施した。</p>	<p>生産尾数は, 種苗生産配布検討会を開催するなど, 漁業者ニーズの把握を行い, ガザミ等に対する漁業者の大型種苗ニーズを反映した種苗生産を実施している。</p> <p>魚類では, 余剰種苗の積極的な配布により, 栽培漁業の推進に貢献している。</p> <p>学校団体等の見学を積極的に受入れ, 栽培漁業及び地域振興に寄与するなど, 自主的に取り組み, 県民サービスの向上に努めている。見学者のため, 施設の修繕を随時行い, 安全確保に努めている。</p> <p>増産に対応する施設(エネルギー棟)の改修に向けた実施設計を行い, 安定的な種苗生産の実現に尽力している。</p>
管理の人的物的基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○組織体制の見直し</li> <li>○効率的な業務運営</li> <li>○収支の適正</li> </ul>	<p>全職員が種苗生産, 施設の修繕・整備, 販売促進等すべての業務を担当できるように, オールラウンド型事務局体制の構築に努めた。</p> <p>種苗生産工程における時期的人役の的確な把握により, 労務時間の短縮を図った。</p>	<p>事業計画書に基づき, 適正に職員が配置されており, 効率的な種苗生産業務, 施設管理業務が行われている。</p>
総括		<p>全職員が業務の見直し, 業務の品質向上及び利用者ニーズの把握と運営への反映に取り組んだ。</p> <p>当該施設の現状を再確認し, 県と共にエネルギー棟の改修に向けた実施設計に取り組んだ。</p>	<p>種苗生産の目標に向け, 漁業者ニーズにも応えた運営を実施している。</p> <p>種苗生産については, 試験研究機関と連携し, 原因究明及び生産改善に努め, 安定生産に取り組んでいる。</p> <p>栽培漁業について, 漁業者及び他機関と連携した取り組みを推進している。</p>

## 8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成 29 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○三倍体マガキ, ガザミ等の生産安定化に取り組む。</li> <li>○キジハタの量産化やアユの技術開発に取り組む。</li> <li>○平成 29 年度より, 集中放流魚種を 2 種から 4 種(カサゴ・オニオコゼ・ガザミ・キジハタ)に増やし, これらの魚種の増産に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○増産に対応する施設(エネルギー棟)の実実施設計を完了させ, 代替施設整備工事を行う。</li> <li>○キジハタの量産化や遊漁に適したアユの人工種苗に対して協力等行う。</li> </ul>
中期的な対応	<p>平成 29 年度以降に計画している集中放流を実施するため, 施設の機能強化により, 効率的な生産を進める。</p>	<p>第 7 次栽培漁業基本計画及びチャレンジプランの実現に向けて, 計画的に施設の長期改修・修繕を実施する。</p>